

地震・台風・豪雨などの災害に伴う長時間停電時の防火対策

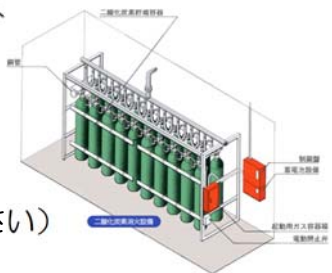
2018年9月4日に通過した台風21号は、関西地方に大きな被害をもたらしました。また、長時間の停電が続いた場所もありました。被害に遭われたお客様には、心よりお見舞い申し上げます。消防庁よりこのような災害時に長時間の停電が発生した場合の防火対策について、下記の通り公表しています。貴社の消防計画書等の災害マニュアルの停電時の予防対策として参考にしてください。



『停電が長時間継続し、消防用設備等が作動しない場合に備えた対応』

ア 消火設備

- ・消火器、簡易消火用具等の設置場所及び使用方法を再確認して下さい。
- ・不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備などの自動消火設備については、起動容器を手動にて開放し、消火ガスを放出させる操作手順を再確認してください（手動による操作は、退避放送等警報装置が動きません。弊社担当者にご確認ください）



イ 自動火災報知設備など

自火報は停電時、予備電源（監視60分）がなくなると使用できなくなります。警戒している所内の方に、自火報が監視できていない旨の周知を徹底してください。また、火気使用設備・器具の火元の巡回確認を行ってください。



予備電池



ウ 避難設備

避難誘導體制及び避難経路を再確認して下さい。停電により、電気錠が設けられた扉及び自動ドア等が機能を失って通行不能となっているおそれがあります。避難経路又は消防隊進入経路を確認し、通行ができるよう対策を講じてください。

エ 自家発電設備

自家発電設備について、必要な燃料の確保してください。



オ 火気使用設備・器具など

火気の使用は、場所を決め十分に注意して行ってください。全ての電気機器類は、スイッチを切るなどしてください。

カ 119番通報体制

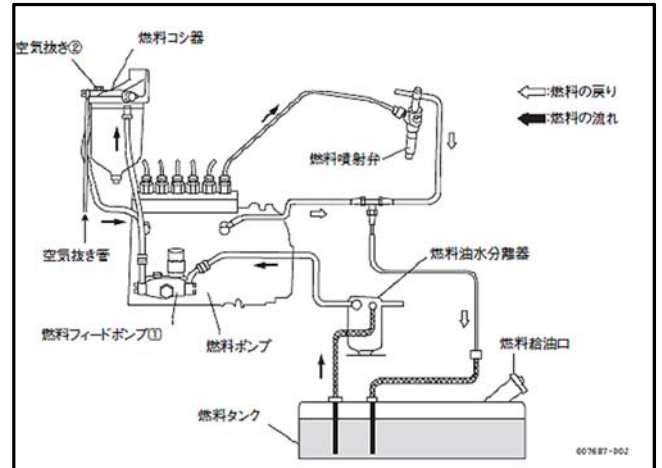
IP電話やFAX機能付き電話等の一部の電話機では、停電により使用不能となるものがあります。携帯電話等での119番通報体制などを確保してください。

『常用電源復旧後の対応』

- 自家発電設備は電源復旧後、直ちに運転を停止（常用電源復旧時、自動的に運転を停止するものを除く。）させて、燃料の補給等を忘れないようにして下さい。
特に、燃料が空となった後に燃料を補給した場合、再び適切に作動するかを確認を行ってください。
（ディーゼルエンジンの自家発電設備の場合、エンジン部分の空気抜きが必要な場合があります）

非常用ディーゼルエンジン（防災用）燃料系統のエア抜き方法（ヤママー製 標準品）

1. エンジンが始動しないように停止処置を行ってください。
(運転モード 自動→試験、バッテリースイッチ ON→OFF 等)
2. 燃料フィードポンプのカバーを取外し、つまみを左に回してポンプのつまみが上下に動くまで緩めて下さい。
燃料コシ器空気抜きのボルトを緩めフィードポンプを上下させ燃料に気泡が出なくなるまでプライミングをし、ボルトを締めて下さい。
3. 燃料フィードポンプのつまみを右に締付け、カバーをかぶせて下さい。
エンジンの停止処置を解除して下さい。エア抜きは完了。



- 自動火災報知設備や消火設備の蓄電池設備には、長時間停電することに伴い予備電源の容量が低下すること等により、異常警報を鳴動するものがあります。
警報音の停止方法、また、充電後のバッテリーの確認方法などについては、弊社担当者に確認してをお願いします。



「 錦 秋 」